

教育を受ける権利の実質化をめぐる ——教育機会確保法(2016年12月)成立5周年を機に まずは、夜間中学から考える——

シンポジスト

見城 慶和

(えんぴつの会 元夜間中学校 教諭)
「夜間中学校での教育実践」

東京都の夜間中学校で長年ご勤務された経験を持ち、映画『学校I』（山田洋二）監督の主人公のモデルの一人として知られる。1999年には長年の実績が評価され、吉川英治文化賞を受賞。著書に『夜間中学校の青春』（大月書店、2002年）がある。

添田 祥史（福岡大学）

「教育機会確保法下での夜間中学校の抱える課題」

木村 政伸

(自主夜間中学・福岡『よみかき教室』共同代表)
「自主夜間中学の経験から」

シンポジウムの趣旨

「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(以下、教育機会確保法)が5年前に議員立法によって成立した(2016年12月)。

教育学研究としては、とりわけ教育機会確保法に伴う教育の質的実質化とは何かを探究することが求められよう。

そこで、2021年度の本研究部会では、夜間中学校に焦点を絞り、夜間中学校が目指すべき教育の「質」とは何かを論じていきたい。この「質」とは何かは多様であるが、ここではとりえず、教育の内容や教育課程、生活指導、同僚性を伴う教師の資質などとしておきたい。

お問い合わせ先 九州教育学会事務局
E-mail: kyukyou@gmail.com

2021年

11月21日(日)

13時30分～17時

オンライン開催

(Web会議システムZoom)

参加費 無料(事前申し込み)



イラスト 熊野佑紀

司 会

勝山 吉章（福岡大学）

木村 拓也（九州大学）

参加希望の方は**11月5日(金)**
までに下記URLまたはQRコード
よりお申し込みください。

参加申込URL:

<https://forms.gle/nJkUD4F3yz8LMhwR8>

